



第1会議室前のいぬ走りのところに、1年生の植木鉢が整然と並べられています。見たところ、芽も葉も出ていません。何が植えられているのでしょうか。答えはチューリップです。子どもたちは毎朝、登校するとペットボトルに水を満たして、自分の植木鉢に水をあげに行っています。春が近くなると芽を出してくるはずですが、その日まで、お世話をお願いします。

全校で人権学習を行いました

日本では、1949年に法務省と全国人権擁護委員連合会が12月10日を最終日とする1週間（12月4日～12月10日）を人権週間と決めました。みんな生まれたときから「自分らしく生きて良いですよ」とされているのです。みんながみんな違うように、全部が同じ人なんて誰もいません。一人ひとりの違いを認め、自分やお友だちの良いところを見つけて、それぞれが大切な存在であることを知る、大切な一週間です。

本校では、人権週間に前に全学級が、道徳で人権を扱った授業に取り組みました。そのすべての授業を参観してきました。発達段階に合わせた授業が、以下のとおり行われていました。

- 1年生「あいさつはだれのため」→あいさつをしたときとしないときの気持ちを考えました。
- 2年生「これでよかった？」→人に勝手に消しゴムが使われた時の気持ちとやり取りについて考えました。
- 3年生「じろりじろり」→白い像と黒い像が、色の違いから憎しみ合って戦いを始めてしまったことから、『ちがひ』について考えました。
- 4年生「コロナウイルスに感染した人にできることを考えよう」→コロナ感染症にかかった同級生が登校してくることが分かった時、自分にできることを考えました。
- 5年生「心の性について考える」→「好きになる性」は自由に選べるが、少数派が生きにくい世界になっている社会について考え合いました。
- 6年生「差別の中を生き抜いた人々の生き方について考える」→将軍から出された厳しい俵約令に対して、行動を起こした人々がいたことを知り、どんな行動を起こしたのか考えました。

人権学習は、自分の中に潜む偏見や差別心に気づくこと、他の人と違った見方をしている自分に気づくこと、当たり前のように思っていたことが当たり前でなかったりすることに気づくことでもあります。ご家庭でも、人権について考えるきっかけになればと考えます。

新型コロナウイルス感染症対応について

新型コロナウイルス感染症のり患者数が報道されない日はありません。三重県においても、新規感染者数が20人を超える日も出るようになりました。四日市市内でも、感染症のリスクが身近なところまで迫ってきていることを実感します。

今一度、保護者の皆様も子どもたちと一緒に対応を考えてみて下さい。学校で取り組んでいること「まけないよー」

もし、児童やご家族が濃厚接触者となった場合は、すぐに学校までお知らせください。また、結果判明までは自宅待機願います。

- ① ② ③ ④ ⑤
- ① ② ③ ④ ⑤

- ① ② ③ ④ ⑤

4～6年の「Web会議システムZoomを利用したオンライン学習の接続テスト」へのご協力ありがとうございました。こちらが指定した時間帯にご都合をつけていただけたご家庭との間で、行うことができました。今回実験に参加できなかったご家庭におかれましても、今後機会を設けていきたいと思っておりますので、ご協力よろしく申し上げます。